【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
形態機能学	１（３０）	１	第１学期	①河野　憲二 ②岡本　英一

目　　標

人体の形態についての学問を基礎とし、生命を保つために必要な人体の構造と機能を理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．人体の大要と解剖学用語 ２．人体の構造と機能 １）細胞（細胞の構造）２）組織（上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織） ３）皮膚と膜（皮膚と膜の構造と機能を含む）	講義	担当者① 15時間
2	2	２．人体の構造と機能 ４）ホメオスタシス ３．細胞の機能（細胞小器官）　（タンパク質合成）	講義	①
3	2	３．細胞の機能（細胞分裂） ４．生命の発生 １）発生学基礎　染色体、受精から着床まで　２）発生学　性の分化 ３）ヒトの出生前期間における発生の進行過程、臨界期	講義	①
4	2	５．脳・神経系の構造と機能 １）神経系の分類　２）神経細胞の構造と機能　３）末梢神経系	講義	①
5	2	５．脳・神経系の構造と機能　４）自律神経系 ６．感覚系の構造と機能 １）感覚の特徴　２）化学的感覚（嗅覚と味覚） ３）体性感覚　４）内臓感覚	講義	①
6	2	６．感覚系の構造と機能 ５）聴覚と平衡覚　６）視覚	講義	①
7	2	５．脳・神経系の構造と機能 ５）中枢神経系	講義	①
8	2	７．呼吸器系の構造と機能　（呼吸の生理）	講義	担当者② 15時間
9	2	８．循環器系の構造と機能（心臓の構造と機能）	講義	②
10	2	８．循環器系の構造と機能（血管の構造と機能）（循環の調節）	講義	②
11	1	９．血液・リンパ系の構造と機能（血液の成分と機能）（造血のしくみ）	講義	②
12	2	１０．消化器系の構造と機能	講義	②
13	2	１１．腎・泌尿器系の構造と機能	講義	②
14	2	１２．運動器系の構造と機能（骨関節、神経と筋肉　腱と靭帯）	講義	②
15	2	１３．内分泌系の構造と機能	講義	②
16	1	終講試験		①

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト サブテキスト	人体の構造と機能（１）　解剖生理学　：　医学書院 イメージできる解剖生理学　：　メディカ出版
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
生化学	１（１５）	1	第１学期	松田　将也

目　　標

人間の生命現象を科学的に理解するために、人体の構成成分である化学物質の組成やその分布及び代謝を理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．生化学を理解するための基礎知識 （細胞の構造と機能を中心に） ２．代謝の基礎知識	講義	
2	2	３．糖質の代謝 （解糖系、クエン酸回路、電子伝達系）	講義	
3	2	３．糖質の代謝 （グリコーゲン代謝、ペントースリン酸経路、糖新生） ４．脂質とは （脂肪酸、トリグリセリド、リン脂質、コレステロール リポタンパク質）	講義	
4	2	５．脂質の消化・吸収 ６．脂質の代謝 （β酸化、ケトン体、脂肪酸、コレステロール、 エイコサノイドの合成）	講義	
5	2	７．タンパク質とは ８．タンパク質の代謝（エネルギー代謝、窒素源について）	講義	
6	2	８．タンパク質の代謝 ９．核酸の代謝（複製、核酸の合成、分解）	講義	
7	2	１０．核酸の代謝（転写、翻訳） １１．酵素	講義	
8	1	終講試験		

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	人体の構造と機能（２）　生化学　：医学書院
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
病理学	１（１５）	1	第１学期	合田　直樹

目　　標

疾病の本態である病因と病変の特徴について理解する
正常から逸脱する場合の主要な症状・特徴のメカニズムに共通する現象について理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．病理学とは １）病気の原因（内因・外因）　２）病気の分類	講義	
2	2	２．細胞・組織の損傷と修復 １）萎縮、変性、肥大　２）壊死　３）創傷と治癒 ３．炎症と免疫異常 ４．感染症	講義	
3	2	６．循環障害 １）浮腫　２）充血とうっ血　３）出血　４）血栓症 ５）塞栓症　６）虚血と梗塞　７）側副循環　８）高血圧症 ９）DIC　　１０）ショック	講義	
4	2	７．代謝障害 １）脂質代謝障害（肥満、動脈硬化、脂肪肝　脂質異常症） ２）タンパク質代謝障害 （高アンモニア血症　アミロイドーシス） ３）糖質代謝障害（糖尿病）　４）その他（痛風）	講義	
5	2	８．老化と死　　細胞の老化、 １）個体の老化と老年症候群　２）加齢に伴う諸臓器の変化 ３）個体の死（死の判定）	講義	
6	2	９．先天異常と遺伝子疾患 １）遺伝子と染色体　　２）先天異常の原因と分類 ３）遺伝子の異常と疾患	講義	
7	2	１０．腫瘍 １）定義と分類　２）腫瘍発生の病理　３）腫瘍の広がりと影響	講義	
8	1	終講試験		

授業形態	講義
評価方法 点数配分	各講義で実施するミニテストと終講試験の結果を合わせて評価する 点数配分はミニテスト35点、終講試験65点である 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト サブテキスト	疾病のなり立ちと回復の促進（1）　病理学　：　医学書院 イメージできる病態生理学　：　メディカ出版
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
病態生理治療論Ⅰ	１（３０）	１	第１・２学期	①三尾　直士 ②山賀　郁 ③澤井　聡

目　　標

人体の機能を基本とし、呼吸器系の疾患の病態生理、主要症状および関連した検査・治療について理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．呼吸器系の構造と機能 １）肺の構造　２）気道のクリアランス　３）気管・気管支の構造 ４）縦隔の構造５）肺と胸郭・胸腔・胸膜の関係　６)横隔膜	講義	担当者① 26時間
2	2	７）呼吸調節　８）換気運動　９）ガス交換　１０）酸塩基平衡	講義	①
3	2	２．主要症状と病態生理 １）喀痰・血痰・喀血　２）チアノーゼ　３）呼吸困難　４）喘鳴 ５）ショック　６）胸痛　７）発熱	講義	①
4	2	３．主要疾患：病態生理・症状・検査・治療 １）感染症（インフルエンザ、肺炎、結核）	講義	①
5	2	２）間質性肺疾患	講義	①
6	2	３）気道疾患（気管支喘息・気管支拡張症・慢性閉塞性肺疾患）	講義	①
7	2	４）肺血栓塞栓症　５）呼吸不全	講義	①
8	2	６）肺腫瘍	講義	①
9	2	７）胸膜・縦隔・横隔膜の疾患	講義	①
10	2	４．検査治療処置 １）検査：　①血液検査　②動脈血ガス分析　③喀痰検査　④胸水検査 ⑤呼吸機能検査　⑥画像診断　⑦内視鏡検査　⑧生検	講義	①
11	2	２）治療・処置：①吸入療法　②酸素療法　③人工呼吸療法、	講義	①
12	2	④呼吸理学療法　⑤胸腔ドレナージ　⑥気道確保	講義	①
13	1	これまでの復習	講義	①
14	2	５．胸部疾患と外科的治療 １）乳がんと外科的療法（乳房切除術）	講義	担当者② 2時間
15	2	２）肺がんと外科的療法（肺切除術）	講義	担当者③ 2時間
16	1	終講試験		①

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト サブテキスト	成人看護学（２）呼吸器　：　医学書院 成人看護学（９）女性生殖器　：　医学書院 臨床外科看護各論　：　医学書院
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
病態生理治療論Ⅱ	１（３０）	１	第１・２学期	長谷川　浩二

目　　標

人体の機能を基本とし、循環器系の疾患の病態生理、主要症状および関連した検査・治療について理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．循環器の構造と機能 １）心臓の構造と機能　２）血管の構造と機能　３）循環の調節	講義	
2	2	２．検査 １）心電図　２）胸部レントゲン	講義	
3	2	３）心エコー　４）心臓核医学検査　５）ＣＴ	講義	
4	2	６）心臓カテーテル法　７）血行動態モニタリング	講義	
5	2	３．症状と病態生理	講義	
6	2	４．疾患と症状・治療 １）虚血性心疾患（病態・危険因子）	講義	
7	2	１）虚血性心疾患（治療）	講義	
8	2	２）心不全	講義	
9	1	３）不整脈（頻脈）	講義	
10	2	３）不整脈（徐脈）	講義	
11	2	４）弁膜症・心膜炎・心筋症	講義	
12	2	５）血圧異常・静脈系疾患	講義	
13	2	６）動脈系疾患	講義	
14	2	５．内科的・外科的治療 １）冠状動脈バイパス術　　２）弁膜症に対する手術	講義	
15	2	３）大血管再建術　　４）血管内治療	講義	
16	1	終講試験		

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト サブテキスト	成人看護学（３）循環器　　：　医学書院
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
病態生理治療論Ⅲ	１（３０）	１	第１・２学期	①宮本　心一 ②西川　元 ③畑　啓昭

目　　標
人体の機能を基本とし、消化器系の疾患の病態生理、主要症状および関連した検査・治療について理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．口腔から食道の構造と機能、疾患と症状・検査・治療 １）胃食道逆流症　２）食道がん	講義	担当者① 26時間
2	2	２．胃・十二指腸の構造と機能	講義	①
3	2	２．胃・十二指腸の疾患と症状・検査・治療 １）機能性ディスペプシア　２）胃炎　３）胃・十二指腸潰瘍　４）胃がん	講義	①
4	2	３．小腸・大腸の構造と機能	講義	①
5	2	３．小腸・大腸の疾患と症状・検査・治療 １）腸炎　２）腹膜炎　３）虫垂炎　４）ヘルニア	講義	①
6	2	５）腸閉塞　６）大腸がん　７）肛門疾患	講義	①
7	2	４．肝臓・胆道系・膵臓の構造と機能	講義	①
8	2	１）肝臓の構造と機能(肝炎)	講義	①
9	2	５．肝臓の疾患と症状・検査・治療 １）総論　２）肝炎	講義	①
10	2	３）肝硬変　４）肝不全　５）肝がん	講義	①
11	2	６．胆嚢・膵臓の疾患と症状・検査・治療 １）胆石症　２）胆管がん　３）胆嚢がん	講義	①
12	2	４）膵炎　５）膵がん	講義	①
13	1	これまでの復習	講義	①
14	2	７．外科的治療 １）下部消化管手術	講義	担当者② 2時間
15	2	２）上部消化管手術	講義	担当者③ 2時間
16	1	終講試験		①

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト サブテキスト	成人看護学（５）消化器　：　医学書院 臨床外科看護各論　：　医学書院 人体の構造と機能[1]　解剖生理学　：　医学書院
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
病態生理治療論Ⅳ	１（１５）	１	第１・２学期	向井　章悟

目　　標

人体の機能を基本とし、運動器系の疾患の病態生理、主要症状及び関連した検査・治療について理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．整形外科総論	講義	
2	2	２．疾患の症状とその病態生理・検査・治療・処置 １）骨折総論	講義	
3	2	２）骨折各論	講義 演習	
4	2	３）変形性関節症	講義	
5	2	４）脊椎疾患　５）骨粗鬆症	講義	
6	2	６）小児整形外科疾患	講義	
7	2	７）ロコモーティブ症候群	講義	
8	1	終講試験		

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト サブテキスト	成人看護学（１０）運動器　　：　医学書院
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
病態生理治療論Ⅴ	１（３０）	１	第１・２学期	①福田　俊一 ②澤田　秀幸 ③井内　盛遠

目　　標
人体の機能を基本とし、脳神経系の疾患の病態生理、主要症状および関連した検査・治療について理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．脳・神経系疾患の症状とその病態生理 （意識障害・高次機能障害・運動機能障害・感覚機能障害）	講義	担当者① 15時間
2	2	１．脳・神経系疾患の症状とその病態生理 （自律性のある機能の障害・頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア・髄膜刺激症状・頭痛）	講義	①
3	2	２．疾患と症状・検査・診断・治療 １）脳梗塞 ：症状・神経学的診察・画像診断・外科的治療	講義	①
4	2	脳出血・クモ膜下出血 ：症状・神経学的診察・画像診断・外科的治療	講義	①
5	2	２）脳腫瘍 ：症状・神経学的診察・画像診断・外科的治療	講義	①
6	2	３）頭部外傷（硬膜外血種・硬膜下血種・脳挫傷） ：症状・神経学的診察・画像診断・穿頭術・開頭手術を含む	講義	①
7	2	４）脳脊髄液の異常　　５）脊髄疾患 ：症状・神経学的診察・画像診断・髄液シャント術を含む	講義	①
8	2	６）神経・筋疾患（筋ジストロフィー・重症筋無力症）	講義	担当者② 4時間
9	2	７）脱髄・変性疾患（多発性硬化症・パーキンソン病・ALS ）	講義	②
10	2	８）脳梗塞 ：症状・神経学的診察・画像診断・内科的治療	講義	担当者③ 11時間
11	2	９）末梢神経障害（ギランバレー症候群・単神経障害・顔面神経麻痺） ：症状・神経学的診察・神経伝達検査・血漿交換法を含む	講義	③
12	2	１０）脳・神経系の感染症（脳炎・髄膜炎） ：症状・神経学的診察・画像診断・脳脊髄検査・薬物療法を含む	講義	③
13	2	１１）てんかん ：症状・神経学的診察・画像診断・薬物療法を含む	講義	③
14	2	１２）認知症（アルツハイマー病・脳血管性認知症・レビー小体認知症） ：症状・神経学的診察・画像診断・薬物療法を含む	講義	③
15	1	これまでの復習	講義	③
16	1	終講試験		①

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト サブテキスト	成人看護学（７）脳・神経　　：　医学書院
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
病態生理治療論Ⅵ	１（３０）	１	第１・２学期	①瀬田　公一 ②奥野　博 ③江川　晴人

目　　標

人体の機能を基本とし、腎泌尿器系・生殖器系の疾患の病態生理、主要症状および関連した検査・治療について理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．腎・泌尿器の構造と機能	講義	担当者① 14時間
2	2	２．腎・泌尿器系疾患の症状とその病態生理 １）尿の異常　２）浮腫　３）脱水　４）循環器系の異常	講義	①
3	2	５）酸・塩基平衡	講義	①
4	1	３．検査・治療・処置	講義	①
5	2	４．疾患と症状・治療 １）腎不全　２）ネフローゼ症候群	講義	①
6	2	３）糸球体腎炎	講義	①
7	2	４）全身性疾患による腎障害　５）腎血管性病変	講義	①
8	2	４．泌尿器　総論	講義	担当者② 6時間
9	2	１）尿路結石症　２）男性性機能障害　３）排尿障害	講義	②
10	2	４）尿路・性器の腫瘍	講義	②
11	2	５．女性生殖器の構造と機能　女性のライフステージに応じた具体的変化	講義	担当者③ 10時間
12	2	６．女性生殖器系疾患の症状と病態生理	講義	③
13	2	７．女性生殖器系疾患と症状・検査・治療 １）膣の疾患　２）子宮の疾患	講義	③
14	2	３）卵管の疾患　４）卵巣の疾患	講義	③
15	2	５）機能的疾患　６）感染症	講義	③
16	1	終講試験		①

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト サブテキスト	成人看護学（８）腎・泌尿器　　：　医学書院 成人看護学（９）女性生殖器　　：　医学書院
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
病態生理治療論Ⅶ	１（３０）	１	第２学期	①成瀬　光栄 ②野村　英生 ③喜多　美穂里 ④辻　純

目　　標

人体の機能を基本とし、内分泌系・代謝系・感覚器系の疾患の病態生理、主要症状および関連した検査・治療について理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．内分泌器官の構造と機能	講義	担当者① 6時間
2	2	２．内分泌疾患の症状と病態生理・検査	講義	①
3	2	３．内分泌疾患と治療 １）甲状腺疾患　２）副甲状腺疾患　３）副腎疾患　４）内分泌腫瘍	講義	①
4	2	４．代謝器官の構造と機能	講義	担当者② 10時間
5	2	５．代謝疾患の症状と病態生理・検査	講義	②
6	2	６．代謝疾患と治療 １）糖尿病　（１）	講義	②
7	2	１）糖尿病　（２）	講義	②
8	1	２）脂質異常症　　３）肥満症とメタボリックシンドローム ４）尿酸代謝異常	講義	②
9	2	７．眼の構造と機能 ８．視機能に関連した症状とその機能	講義	担当者③ 6時間
10	2	９．疾患と検査・治療・処置 １）機能の障害　２）結膜・角膜の疾患	講義	③
11	2	３）網膜・硝子体の疾患　４）水晶体の疾患　５）緑内障	講義	③
12	2	１０．口腔・咽頭・喉頭疾患と検査・治療について	講義	担当者④ 8時間
13	2	１１．甲状腺・副甲状腺・頚部疾患と検査・治療について	講義	④
14	2	１２．耳の疾患と検査・治療について １）中耳炎　２）メニエール病	講義	④
15	2	１３．鼻の疾患と検査・治療について １）鼻中隔湾曲症　２）副鼻腔炎	講義	④
16	1	終講試験		②

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト サブテキスト	成人看護学（６）　内分泌・代謝　：　医学書院 成人看護学（１３）眼　：　医学書院 成人看護学（１４）耳鼻咽喉　：　医学書院
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
病態生理治療論Ⅷ	１（３０）	１	第２学期	①栗山　陽子 ②川端　浩 ③井口　美季子 ④吉田　浩輔 ⑤金井　修

目　　標

人体の機能を基本とし、血液リンパ系・免疫・アレルギー、膠原病の疾患の病態生理、主要症状および関連した検査・治療について理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．血液の生理と造血のしくみ １）血液の成分と機能	講義	担当者① 10時間
2	2	２）造血のしくみ	講義	①
3	2	２．症候と病態生理 １）貧血　２）白血球増加症・減少症　３）リンパ節腫脹　４）出血性素因	講義	①
4	2	３．治療の理解 １）輸血療法	講義	①
5	1	４．検査・診断 １）末梢血検査　２）骨髄穿刺　３）出血傾向の検査　４）血液型	講義	①
6	2	５．血液・造血器系疾患と症状・治療 １）赤血球系の異常　　２）白血球系の異常	講義	担当者② 6時間
7	2	３）造血器腫瘍（１）	講義	②
8	2	３）造血器腫瘍（２）	講義	②
9	2	６．免疫のしくみ	講義	担当者③ 10時間
10	2	７．アレルギー	講義	③
11	2	８．疾患・症状・検査・治療 １）関節リウマチ ２）全身性エリテマトーデス	講義	③
12	2	３）全身性強皮症	講義	③
13	2	４）多発性筋炎・皮膚筋炎　　５）ベーチェット病 ・国家試験対策	講義	③
14	2	５．血液・造血器疾患と治療 ４）血小板異常による出血性疾患　　５）凝固異常による出血性疾患 ６）ＤＩＣ	講義	担当者④ 2時間
15	2	７）ＨＩＶ	講義	担当者⑤ 2時間
16	1	終講試験		①

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト サブテキスト	成人看護学（４）　血液・造血器　　：　医学書院 成人看護学（１１）アレルギー　膠原病　感染症　：　医学書院
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
病態生理治療論Ⅸ	１（１５）	１	第２学期	①七野　力 ②荒木　則雄 ③田中　雅子

目　　標
主要な治療方法である手術療法、放射線療法、化学療法の基礎的知識を理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	1．手術療法 1）手術療法とは　　2）手術療法による生体への影響	講義	担当者① 7時間
2	2	1．手術療法 2）麻酔法 （1）麻酔とは　　（2）麻酔の種類と特徴 （3）全身麻酔 吸入麻酔、静脈麻酔、合併症	講義	①
3	2	1．手術療法 2）麻酔法 （4）局所麻酔 脊椎麻酔、硬膜外麻酔、合併症	講義	①
4	2	2．放射線療法Ⅰ 1）放射線診療の種類と概要 （1）放射線診断　　（2）核医学診断・治療 2）放射線の基礎知識 （1）放射線の種類と特徴　　（2）放射線治療 （3）放射線発生のメカニズム（4）放射線の単位 （5）放射線被ばくと影響 3）放射線治療の実際 （1）放射線治療の種類　　（2）有害事象	講義	担当者② 4時間
5	2	1．放射線療法Ⅱ 1）放射線診断の実際 （1）X線検査（造影、透視、CT）　IVR （2）有害事象（造影剤の副作用等） 2）核医学診断・治療の実際 （1）シンチグラム、PET　　（2）有害事象	講義	②
6	2	3．化学療法 1）化学療法の歴史　　2）化学療法の種類と特徴 3）化学療法の原理　　4）化学療法の目的	講義	担当者③ 4時間
7	2	3．化学療法 4）化学療法の副作用（有害反応） 5）抗がん剤暴露からの防護	講義	③
8	1	終講試験		①

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト サブテキスト	臨床外科看護総論　　：　医学書院 基礎看護学（４）　臨床看護総論　：　医学書院
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
栄養学	１（１５）	1	第１学期	今西　健二

目　　標

生命の維持、エネルギー生産のための栄養素のはたらきについて理解する。
疾患や症状別の食事について理解する。

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．人間栄養学と看護	講義	
2	2	２．栄養素の種類とはたらき	講義	
3	2	３．食物の消化と栄養素の吸収・代謝 ４．エネルギー代謝	講義	
4	2	５．食事と食品 ６．栄養ケア・マネジメント	講義	
5	2	７．栄養状態の評価・判定 ８．ライフステージと栄養	講義	
6	2	９．臨床栄養（１） １）病院食　　２）栄養補助法　　３）疾患・症状別食事療法	講義	
7	2	９．臨床栄養（２） ３）疾患・症状別食事療法　　４）術前・術後の栄養管理 １０．健康づくりと食生活	講義	
8	1	終講試験		

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト サブテキスト	人体の構造と機能（３）　栄養学　：医学書院
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
微生物学	１（１５）	１	第１学期	溝上　泰司

目　　標
感染症や伝染病の要因として重要な病原微生物の特徴と必要な予防、検査、治療について理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．微生物学の基礎 （細菌の性質、真菌の性質、原虫の性質、ウイルスの性質）	講義	
2	2	２．感染と感染症 １）感染の成立とその経路	講義	
3	2	２）感染に対する生体防御機構	講義	
4	2	３）感染源・感染経路からみた感染症 ４）滅菌と消毒	講義	
5	2	５）感染症の検査と診断 ６）感染症の治療 ７）感染症の現状と対策	講義	
6	2	３．主な病原微生物 １）病原細菌と細菌感染症　　２）病原真菌と真菌感染症 ３）寄生虫と衛生動物	講義	
7	2	４）病原ウイルスとウイルス感染症	講義	
8	1	終講試験		

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	疾病のなり立ちと回復の促進（４）　微生物学　：医学書院
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
薬理学	１（１５）	１	第２学期	土井　敏行

目　　標

看護の臨床で活用できる基本的な薬物動態や薬が生体に及ぼす影響、薬の取り扱いや管理について理解する。

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．薬理学の概念 １）薬とは　　２）薬物の使用目的　３）薬物治療の目指すもの	講義	
2	2	２．薬が作用するしくみ（薬力学）	講義	
3	2	３．薬の体内挙動（薬物動態学） １）投与経路　　２）薬物の吸収・分布・代謝・排泄 ３）薬物動態の指標　　４）薬物相互作用	講義	
4	2	４．薬効に影響を及ぼす要因 １）年齢（小児・高齢者）の影響　　２）性・妊娠・胎児への影響 ３）遺伝子の影響	講義	
5	2	５．薬物使用の有益性と危険性 １）用量による影響　　２）副作用 ３）反復投与による影響（薬剤耐性、薬物依存）	講義	
6	2	６．薬と法律 １）医薬品に関する法律　　２）薬の管理　　３）新薬の開発（治験）	講義	
7	2	７．看護業務に必要な薬の知識 １）薬に関する単位　（薬液の溶質量と薬液量の換算方法） ２）処方箋　（種類、記載事項、読み方） ３）添付文書（記載項目、読み方）	講義	
8	1	終講試験		

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	疾病のなりたちと回復の促進（３）薬理学　：　医学書院
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
臨床薬理学	１（３０）	２	第１学期	土井　敏行

目　　標

薬理学での基本的知識をもとに、疾病の回復につながる薬物療法と臨床での服薬指導の実際について理解できる。

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．抗菌感染症薬 （作用機序、抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬、抗寄生虫薬）	講義	
2	2	２．抗がん薬 （作用機序、抗がん薬の種類、有害作用、暴露）	講義	
3	2	３．免疫治療薬 （作用機序、免疫抑制剤、免疫増強剤・予防接種薬）	講義	
4	2	４．抗アレルギー薬・抗炎症薬 （作用機序、抗ﾋｽﾀﾐﾝ薬、抗ｱﾚﾙｷﾞｰ薬、副腎皮質ｽﾃﾛｲﾄﾞ薬、解熱・鎮痛薬） ５．皮膚科用薬・眼科用薬 （外用薬の種類と投与方法、ｽﾃﾛｲﾄﾞ外用薬、抗炎症薬、緑内緒治療薬）	講義	
5	2	６．末梢神経系に作用する薬物 （作用機序、交感神経作用薬、副交感神経作用薬：ｺﾘﾝ作動薬・抗ｺﾘﾝ薬、筋弛緩薬）	講義	
6	2	７．中枢神経系に作用する薬物（１） （作用機序、吸入・静脈麻酔薬、催眠薬・抗不安薬、抗精神病薬、抗うつ薬・気分安定薬、ﾊﾟｰｷﾝｿﾝ症候群治療薬、抗てんかん薬）	講義	
7	2	７．中枢神経系に作用する薬物（２） （麻薬性鎮痛薬：作用機序、副作用、種類と特徴）	講義	
8	2	８．循環器系に作用する薬物 （作用機序、降圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬、抗不整脈薬、利尿薬、脂質異常症治療薬、抗血液凝固薬、血栓溶解薬・抗血小板薬、止血薬）	講義	
9	2	９．呼吸器・消化器・生殖器・泌尿器系に作用する薬物 （作用機序、気管支喘息治療薬、消化性潰瘍治療薬、制吐薬、下剤と止痢薬など）	講義	
10	2	１０．物質代謝に作用する薬物 （作用機序、糖尿病治療薬：経口血糖降下薬、インスリン製剤、甲状腺疾患治療薬、骨粗鬆症治療薬）	講義	
11	2	１１．救急の際に使用される薬物 ・救急蘇生時の薬物：ｱﾄﾞﾚﾅﾘﾝ、ﾉﾙｱﾄﾞﾚﾅﾘﾝ、ﾄﾞﾊﾟﾐﾝ塩酸塩 ・急性中毒に対する薬物：解毒薬	講義	
12	2	１２．輸液製剤・輸血剤 ・輸液製剤の分類と適応（高ｶﾛﾘｰ輸液を含む） ・輸血用血液製剤の分類と適応	講義	
13	2	１３．漢方薬　・漢方薬の特徴と有害作用 １４．消毒薬　・消毒薬の種類と適応	講義	
14	2	１５．臨床で行われる服薬指導の実際	講義	
15	1	１６．全体のまとめ	講義	
16	1	終講試験		

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	疾病のなりたちと回復の促進（３）薬理学　：　医学書院
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
※総合医療論	１（１５）	２	第１学期	①小池　　薫 ②八十田 明宏 ③井下　三惠 ④佐藤　敦夫

目　　標

時代の変化と共に歩んできた医療の歴史を振り返り、国立病院機構が担う役割や機能について理解する。
また、医療・福祉の抱えている問題点やその問題発生の背景についても考え、専門職として社会に貢献するための方向性を知る。

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．医療の歩みと医療観の変遷	講義	担当者① 4時間
2	2	２．科学技術の進歩と現代医療の最前線	講義	①
3	2	３．医療を見つめ直す新しい視点 １）情報化社会と医療	講義	担当者② 6時間
4	2	４．現代医療の新たな課題 １）生命倫理学と臨床倫理学の展開	講義	②
5	2	４．現代医療の新たな課題 ２）先端医療技術がもたらす倫理上のジレンマ ３）インフォームドコンセントと医療情報の開示	講義	②
6	2	５．国立病院機構の役割と機能	講義	担当者③ 3時間
7	2	６．国立病院機構におけるセーフティネット医療	講義	担当者④ 2時間
8	1	終講試験		③

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	別巻　総合医療論　：医学書院
その他	※この科目は実務経験のある教員による授業科目である

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
公衆衛生学	１（３０）	２	第１・２学期	小泉　昭夫

目　　標

健康の維持・増進・疾病予防の側面から疾病構造の変化や高齢者・在宅療養者の問題を考え、公衆衛生活動について理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．公衆衛生の概要	講義	
2	2	２．健康の保持・増進の基本的考え方	講義	
3	2	３．疾病の予防と疫学的調査方法	講義	
4	2	４．健康の指標（保健統計）	講義	
5	2	５．食品衛生	講義	
6	2	６．環境衛生（公害と環境保全）	講義	
7	2	７．感染症	講義	
8	2	８．母子保健	講義	
9	2	９．学校保健	講義	
10	2	１０．成人保健	講義	
11	2	１１．高齢者保健	講義	
12	2	１２．精神保健、地域保健	講義	
13	2	１３．社会保障（医療保障）	講義	
14	2	１４．産業保健	講義	
15	1	１５．国際保健	講義	
16	1	終講試験		

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト サブテキスト	健康支援と社会保障制度（２）公衆衛生　：　医学書院 国民衛生の動向　：　厚生労働統計協会
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
関係法規	１（１５）	３	第１学期	①小林　良平 ②土井　敏行

目　　標

看護業務に携わる人の身分や業務に関する法の理解と共に健康な生活を維持するために必要な法令を理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．法の概念 ２．看護法：保健師助産師看護師法 看護師等の人材確保の促進に関する法律	講義	担当者① 13時間
2	2	３．医事法：医療法 医療関係資格法 医療を支える法	講義	①
3	2	４．保健衛生法：共通保健法（地域保健法、健康増進法） 感染症に関する法（感染症の予防及び感染症の患に関する医療に関する法律など） 食品に関する法（食品安全基本法など）	講義	①
4	2	５．環境法：環境基本法、公害防止法、自然保護法（地球環境） クリーニング業法、水道法、下水道法など ６．社会保険法：健康保険法、介護保険法など 年金（国民年金法、厚生年金保険法）	講義	①
5	2	７．福祉法：社会福祉法、生活保護法 分野別福祉に関する法律：児童分野、高齢分野、障害分野	講義	①
6	2	８．労働法と社会基盤整備：労働法（労働基準法、労働安全衛生法など） 社会基盤整備（男女共同参画社会基本法など）	講義	①
7	2	９．薬務法：薬事一般に関する法律 人などの組織を用いた医療関連法 薬害被害者の救済 麻薬・毒物などの法	講義	担当者② 2時間
8	1	終講試験		①

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	健康支援と社会保障制度（４）看護関係法令　：　医学書院
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
社会福祉Ⅰ	１（１５）	２	第１学期	佐々木　瞳

目　　標
社会福祉の発達、理論、社会福祉制度と専門的方法、社会保障制度について理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．社会保障制度	講義	
2	2	２．社会福祉の制度と体系	講義	
3	2	３．医療保障制度（１）	講義	
4	2	３．医療保障制度（２）	講義	
5	2	４．介護保障制度（１）	講義	
6	2	４．介護保障制度（２）	講義	
7	2	５．現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向	講義	
8	1	終講試験		

授業形態	講義
評価方法 **点数配分**	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	健康支援と社会保障制度（３）社会保障・社会福祉　　：　医学書院
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
社会福祉Ⅱ	１（３０）	２	第１・２学期	佐分 厚子

目　　標

社会福祉活動の現状を理解し、国民の福祉に対するニーズに応えるための方法や制度、サービスの活用について理解する

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．社会福祉の歴史（１）	講義	
2	2	１．社会福祉の歴史（２）	講義	
3	2	２．所得保障（１）	講義	
4	2	２．所得保障（２）	講義	
5	2	３．公的扶助（１）	講義	
6	2	３．公的扶助（２）	講義	
7	2	４．児童家庭福祉（１）	講義	
8	2	４．児童家庭福祉（２）	講義	
9	2	５．障害者福祉（１）	講義	
10	2	５．障害者福祉（２）	講義	
11	2	６．高齢者福祉（１）	講義	
12	2	６．高齢者福祉（２）	講義	
13	2	７．社会福祉実践と医療、看護	講義	
14	2	８．医療・看護・福祉の連携の実際（１）	講義	
15	1	８．医療・看護・福祉の連携の実際（２）	講義	
16	1	終講試験		

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	健康支援と社会保障制度（３）社会保障・社会福祉　：医学書院
その他	

【専門基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
健康支援論	１（１５）	２	第２学期	①伊藤　浩一 ②今西　健二 ③上田　彩子

目　　標

リハビリテーション医療に加えて、障害予防、健康生活増進活動、生活支援について学び、根拠に基づいた健康支援手段の提供が実践できる能力を身につける。

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	１．健康支援の概要 ２．地域保健活動と健康支援　　＊健康教育の進め方の説明	講義	担当者③ 11時間
2	2	３．地域で健康な生活を送るための支援活動の実際（ADL面、体操など）	講義	担当者① 2時間
3	2	４．地域で健康な生活を送るための支援活動の実際（栄養面）	講義	担当者② 2時間
4	2	５．健康支援の実際 １）健康教育の企画（企画書の作成、企画内容・方法の検討）	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	③
5	2	２）健康教育の準備（企画内容・方法の修正）＊リハーサル	演習 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	③
6	3	３）健康教育の実施（公開講座の実施）	ｸﾞﾙｰﾌﾟでの 実施	③
7	2	４）健康教育の評価	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	③

授業形態	講義、演習
評価方法 点数配分	100点（出席・参加状況：35点、演習：35点　課題レポート：30点　） 出席参加点の内訳→1～4回目・7回目は5点、5回目は0点、6回目は10点） 他の事項については履修規程の第５条、第６条に定めるとおりとする
テキスト	基礎看護学［3］基礎看護技術Ⅱ　：　医学書院 基礎看護学［4］臨床看護総論　　：　医学書院
その他	